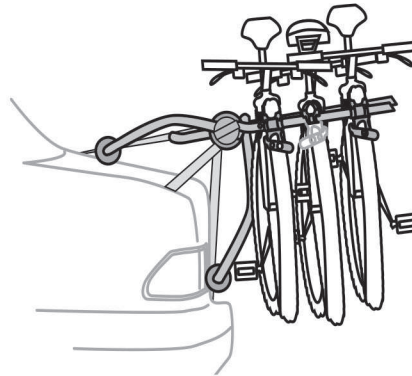


### ハングアウト2 耐荷重

積載可能台数 / 2台  
最大耐荷重 / 27kg  
1台あたり / 13.5kg



### ハングアウト3 耐荷重

積載可能台数 / 3台  
最大耐荷重 / 41kg  
1台あたり / 13.5kg



**走行前にご確認  
ください**

本取付説明書の最後にある  
注意事項と警告をお読み  
ください。

### 別途ご購入ください

チューブトップ #8002531

自転車が大きく傾く場合や、  
トップチューブがない自転車を  
積載する場合は、YAKIMAの  
チューブトップが必要です。



### 重要な警告

カーキャリアおよびアクセサリは、車両に適切かつ確実に取り付けることが重要です。不適切な取り付けは重大な事故につながる恐れがあります。

カーキャリアおよびアクセサリを、車両に確実に固定し、使用前には取り付け部分に緩みなどがいないかを確認してください。また、定期的に製品の調整や摩耗・損傷の有無を点検し、取り付け時や使用前に、この説明書をよくお読みください。説明および注意事項がよく分からない場合、あるいは機械的な経験がなく、取り付け手順に精通していない場合は、専門の取り付け業者に製品の取り付けを依頼してください。

# お車の適合をご確認ください。



<https://pit.yakima.com/>

上記のサイトで、取り付ける車両の検索をしてください。

適合および取り付けに関する情報がご覧いただけます。

本説明書内にて、上のパソコンマークが表示されている箇所については、適合情報に従って取り付けてください。



**危険**

“NO FIT”と記載されている車両には本製品はご使用になれません。

取り付ける車両の掲載がなく、適合が不明な場合は、購入された販売店までお問い合わせください。

## 適合情報がない車両の取り付けに関して

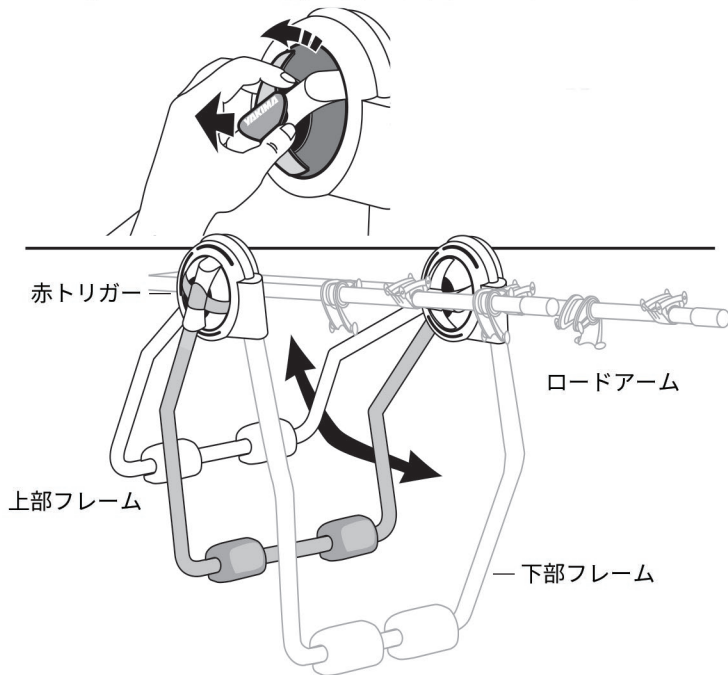
本説明書内にて、左のアイコンが表示されている箇所については、本説明書の指示に従ってキャリアを取り付けてください。



適合情報がない車両への取り付けは、保証対象外となります。

## 1 上部フレームを下部フレームと逆の方向に回転させます。

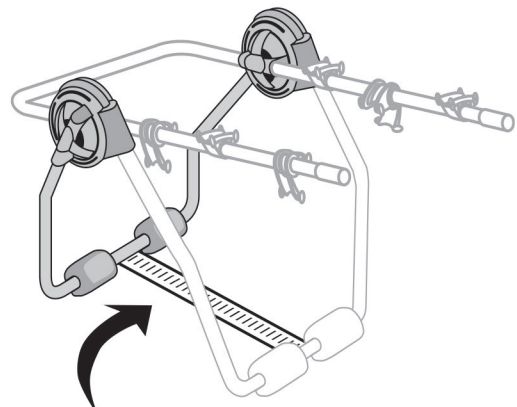
フレームを動かすには、外側のハブにある2つの赤いトリガーを引っ張り、回してください。



## 2 フレームを配置します。



適合情報にて、測定値を確認してください。



- メジャーを準備してください。
- 平らな場所にフレームを広げて置きます。
- パッドを平らにした状態で、チューブの内側の端から測ります。



適合情報がない車種の場合は、以下の手順で車体にフレームを配置してください。

### 上部フレーム

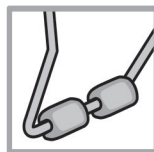


- トリガーを引き出した状態で、上部フレームが車両に接するまで調整してください。
- 位置は下部フレームに対する相対的なものであり、車両の形状によって異なります。

#### 注意

- キャリアがスポイラーに接触する場合は本製品を使用しないでください。

### 下部フレーム



- 一般的な取付位置は、ナンバープレートのナンバー部分のすぐ上またはすぐ下です。
- 取り付け位置を手で押してみても、ボディが変形する箇所には取り付けないでください。

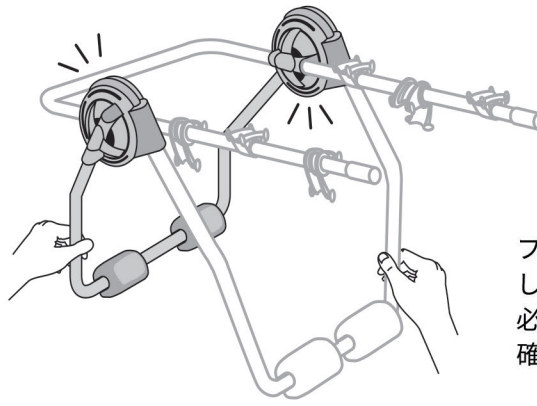
#### 注意

- 下部フレームを、ガラス・プラスチック・薄い金属の上に置かないでください。
- 車両によっては、荷重がかかるとへこんでしまう弱い金属の部分があります。

### 3 フレームの位置を固定してください。



- 赤いトリガーを回して、ハブにしっかりはまるまで押し込みます。
- フレームを少し動かし、赤いトリガーがカチッと音がするまで動かしてください。
- フレームが緩いと感じたら、赤いトリガーを引き出し、再度試してください。



フレームがズレないようにしてください。  
必要に応じて、測定値を確認してください。

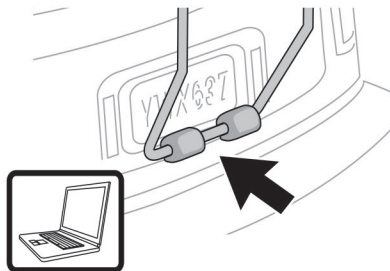
### 4 キャリアを取り付ける準備をします。



車両の取り付け部分の清掃を行い、ゴミが付着していないことを確認してください。

### 5 下部フレームを下ろします。

荷重を支える上で、下部フレームの位置は極めて重要です！



適合情報を確認し、車両に関する注意事項をよくお読みください。



#### 適合情報がない車両の場合

- 一般的な取り付け位置は、ナンバープレートの数字のすぐ上、または下にある、しっかりとした土台のくぼみです。

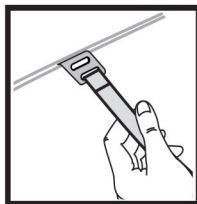
#### 注意

- 下部フレームを、ガラス・プラスチック・薄い金属の上に置かないでください。
- 車種によっては、荷重がかかるとへこんでしまう弱い金属の部分があります。

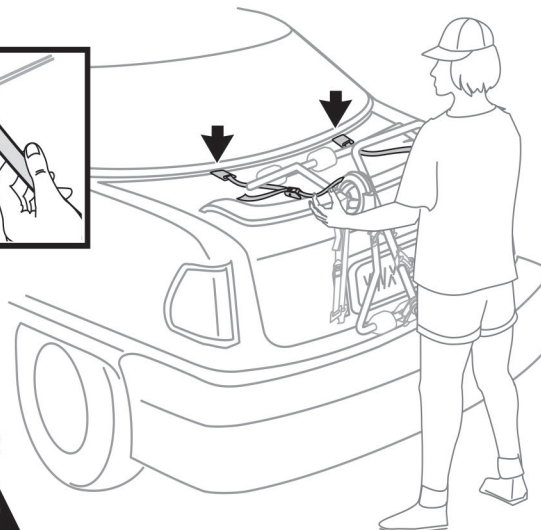
### 6 トップフックを配置してください。



適合情報を確認してください。



適合情報を検索し、取り付けに際して、ガラスハッチフックの使用や、取り付け方法はアンカー方式にするべきかなどの注意事項を確認してください。



#### 適合情報がない車両の場合

#### トップフックの位置

- トップフックを、トランクまたはハッチの先端に差し込みます。

#### 注意

- ハッチやトランクの先端にトリムがある場合は、車内側にフックを引っ掛ける、アンカー方式で取り付ける必要があります。
- ハッチやトランクを開ける前に、フックを取り外してください。フックを取り付けたままハッチやトランクを開けると、車両に損傷を与える恐れがあります。

**警告：トップフックをガラスやプラスチックに取り付けしないでください。**

トップフックをガラスやプラスチックに取り付ける必要がある場合は、次のページのトップフックを車内側に引っ掛ける(アンカー方式)取り付け手順に従ってください。

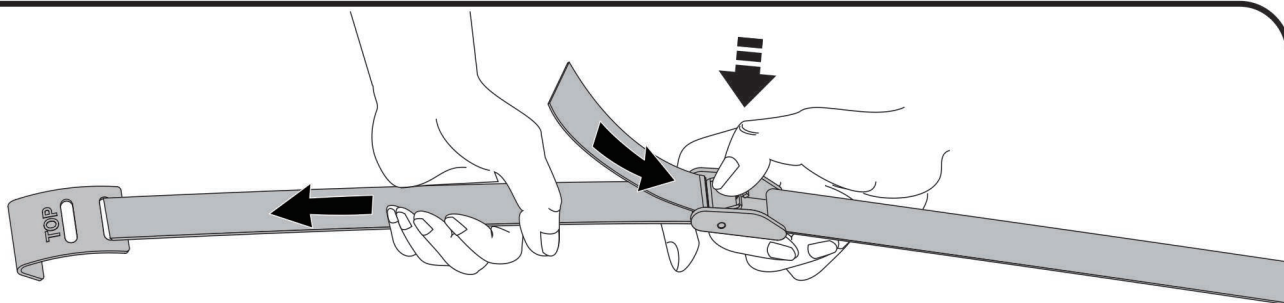
トップフックをガラスやプラスチックに取り付けない場合は手順⑩に進んでください。

# トップフックを車内側に引っ掛ける(アンカー方式)取り付け方法

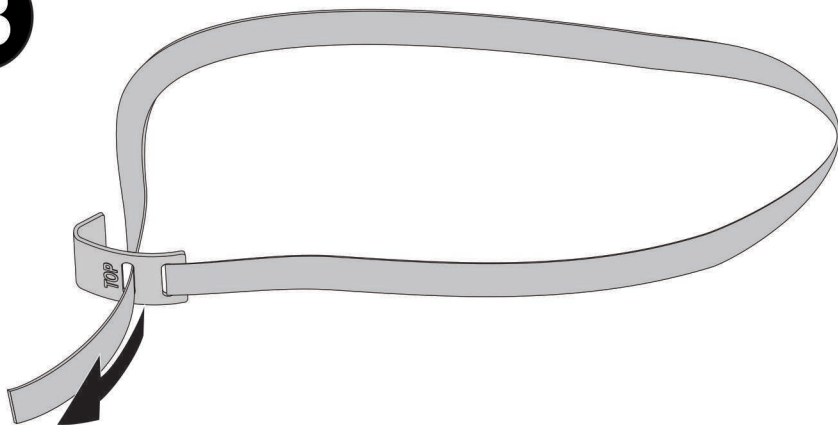


アンカー方式で取り付けが必要がない車両の場合は、このページはスキップしてください。

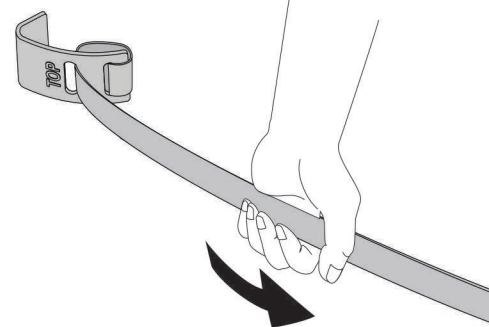
**A**



**B**

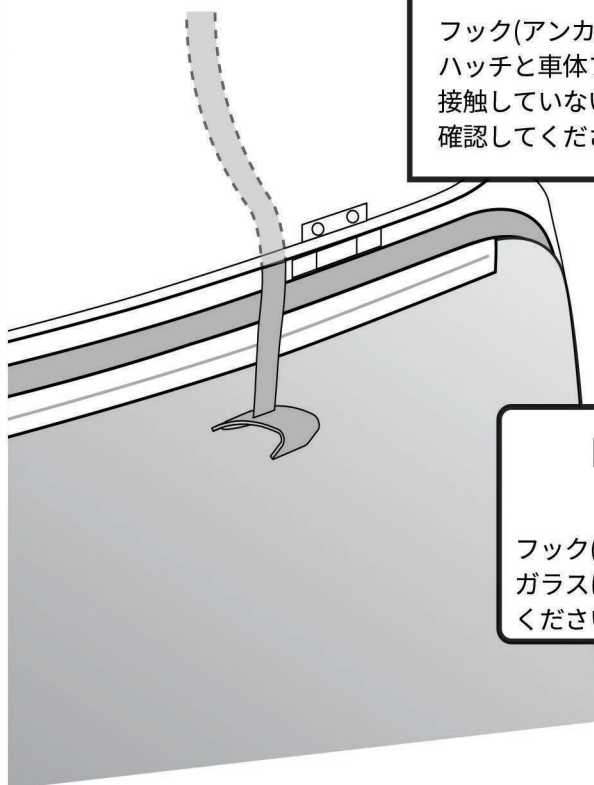


**C**



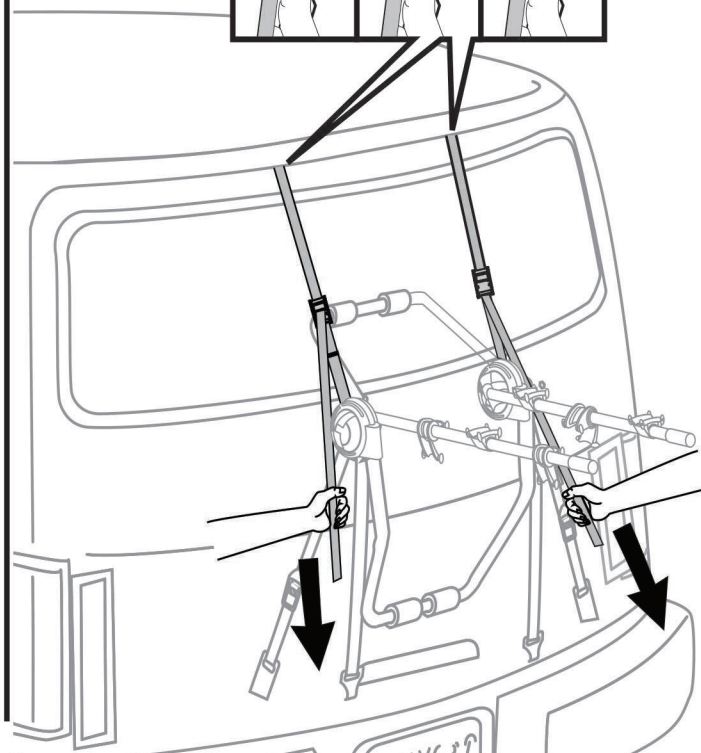
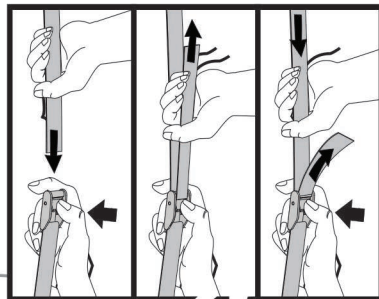
**D**

フック(アンカー)がハッチと車体フレームに接触していないことを確認してください。



**警告**  
フック(アンカー)をガラスにあてないでください。

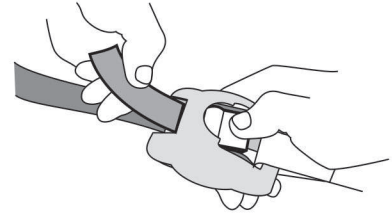
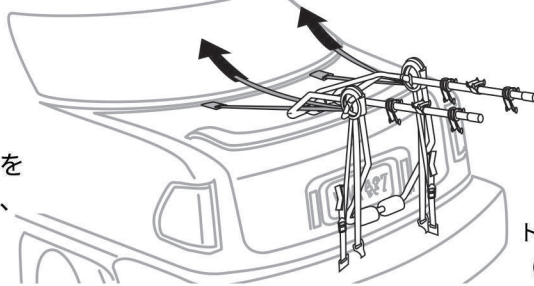
**E**



トップフックをガラスやプラスチックに取り付けない場合はここから続けてください。

**13** トップストラップを調整します。

手順⑥で決定した位置にフレームを配置します。トップストラップで、キャリアを固定します。

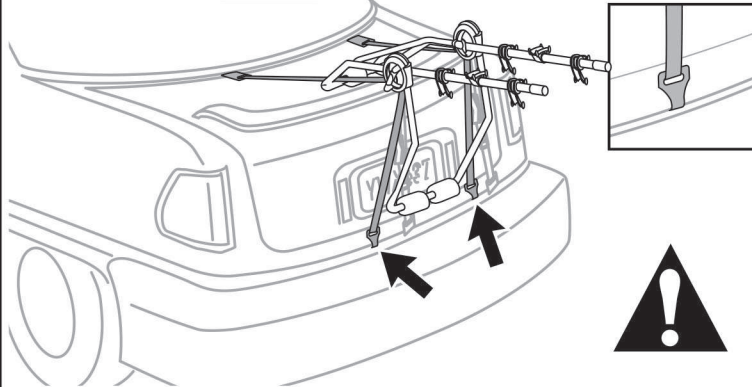


トップストラップの両端を引っ張り調整してください。  
(金属製のバックルを押すと緩みます。)

**14** ボトムフックを取り付けます。



適合情報を確認して下さい。



**警告：ボトムフックをガラスやプラスチックに取り付けしないでください！**

やむを得ずガラスやプラスチックに取り付ける場合は、次のページの「アンカー方式取り付け方法」に従ってください。



適合情報がない車両の場合

**ボトムフックの取り付け位置**

一般的な取り付け位置は、トランクまたはハッチの底面です。  
車両下部の固定用フックやバンパーの金属製の突起も使用できます。

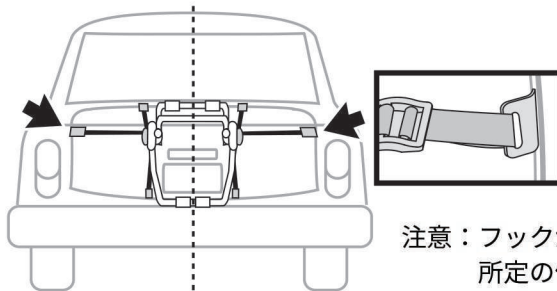
**注意**

- ストラップを高温のマフラーから十分に離してください。
- ストラップが鋭利な金属の淵に擦れないようにしてください。
- ボトムフックをプラスチック製のバンパーに取り付けしないでください。

**15** キャリアを車両の中央に配置し、サイドストラップのフックを配置します。



適合情報に従ってサイドストラップを配置してください。



注意：フックが取り付けにくい場合は、幅の広い部分から差し込み、所定の位置にスライドさせてください。



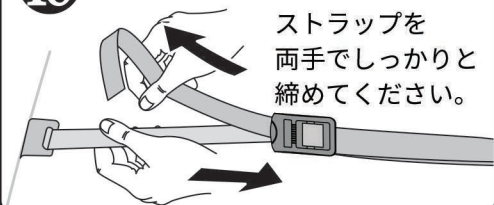
適合情報がない車両の場合

**サイドフックの取り付け位置**

- トランクまたはハッチの側面に取り付けます。
- 締め付けた際にフックが上下にずれないように位置を調整してください。

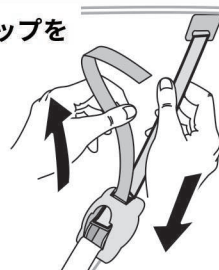
**16** サイドストラップを締めます。

ストラップを両手でしっかりと締めてください。

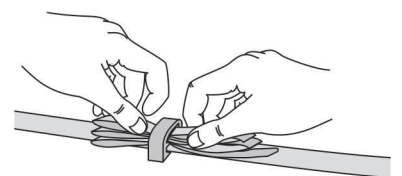


**17** トップストラップを締めます。

ストラップを両手でしっかりと締めてください。



**18** 余ったストラップの端をバンドでまとめます。



手順⑱へ進む

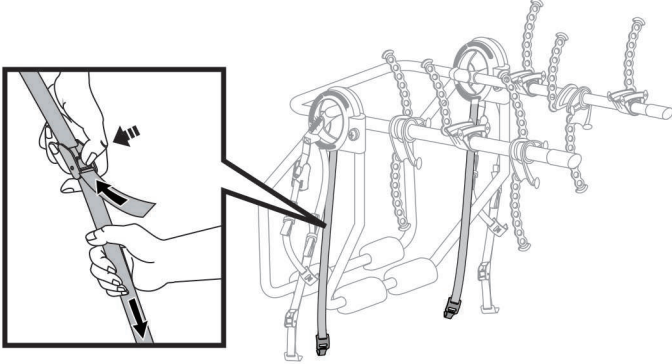


## ボトムフックを車内側に引っ掛ける(アンカー方式)取り付け方法

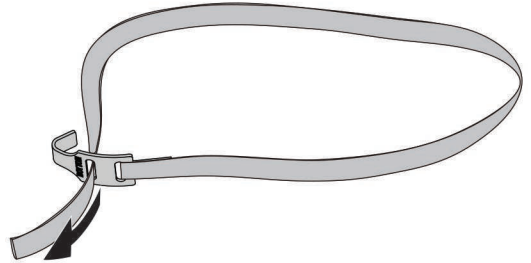
アンカー方式で取り付ける必要がない車両の場合は、このページはスキップしてください。

**A** キャリアを車両から取り外してください。

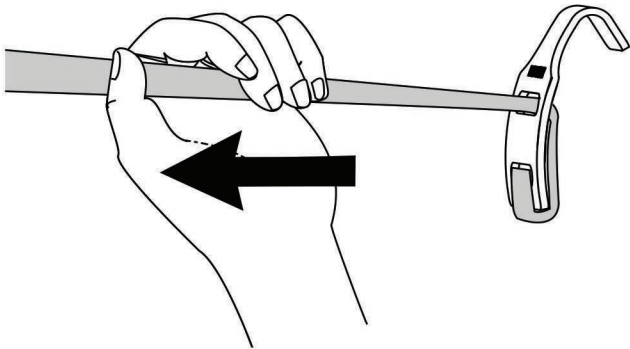
**B**



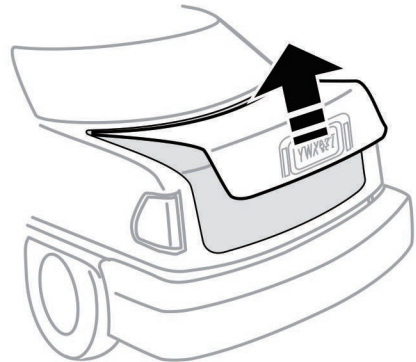
**C**



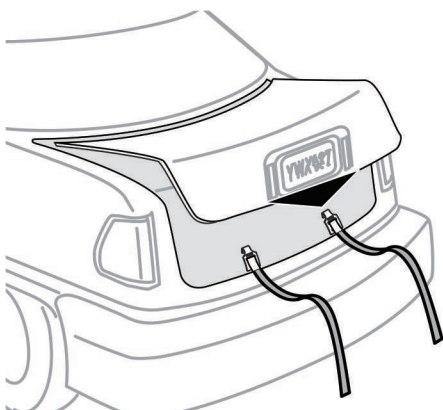
**D**



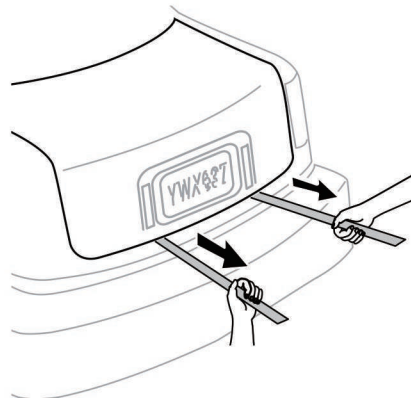
**E**



**F**

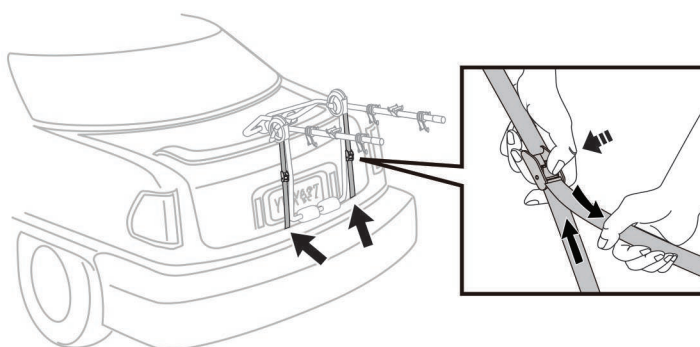


**G**



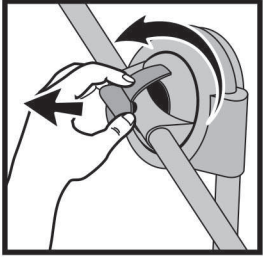
トランクを閉じる前に  
フック(アンカー)が  
ハッチと車体フレームに  
接触していないことを  
確認してください。

**H**

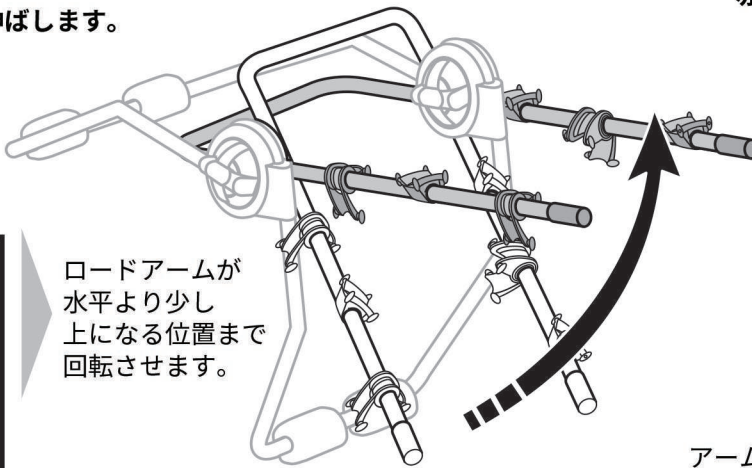


## 19 ロードアームを伸ばします。

内側のハブで赤いトリガーを引き、回します。

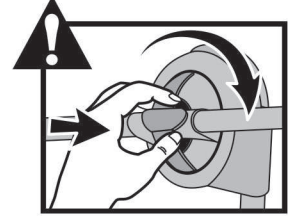


ロードアームが水平より少し上になる位置まで回転させます。



赤いトリガーを元の位置に戻します。

- 両方のトリガーがハブに確実に収まっていることを確認してください。
- 両方のアームを上下に動かし、カチッと音がして所定の位置に収まることを確認してください。

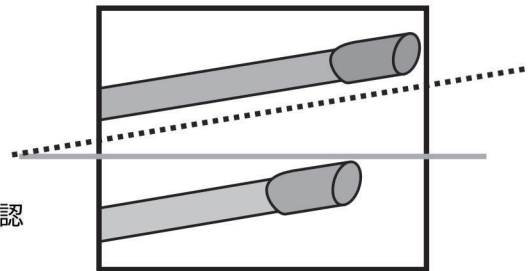


アームがカチッと固定されない場合は、トリガーを調整し、アームが所定の位置に収まるまで動かしてください。

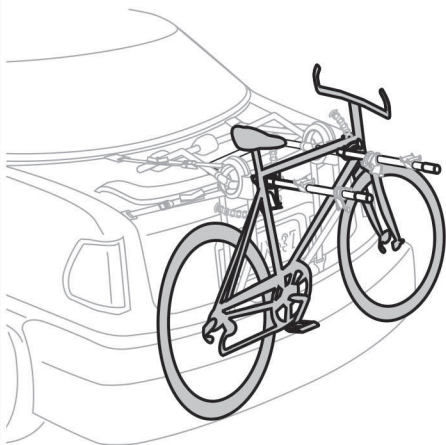


### 適合情報がない車両の場合

- ロードアームが水平より少し上になる位置まで回転させます。
- 自転車を積載したときに、地面から十分に離れていることを確認してください。

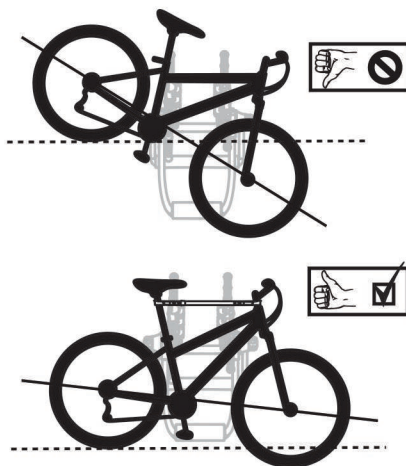


## 20 最も重い自転車から積載します。



1台目の自転車は、車両とチェーンが離れるように積載してください。必ず車両側のクレードルから積載してください。

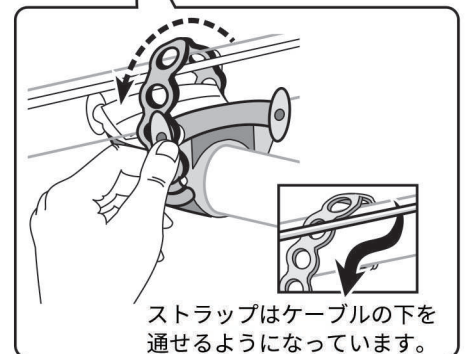
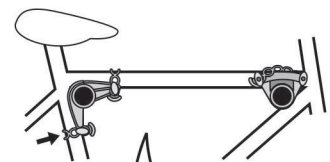
YAKIMA チューブトップが必要になる場合があります。



**!** 自転車を正しく積載しないと、重大な事故につながる恐れがあります。

自転車は、地面との距離の問題や、自転車が外れる可能性を避けるため、なるべく水平にしてください。

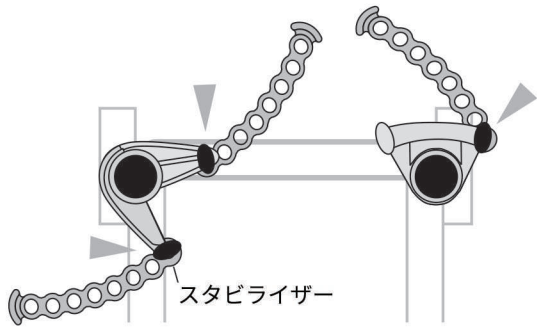
自転車のフレームをクレードルで固定します。



ストラップはケーブルの下を通せるようになっています。

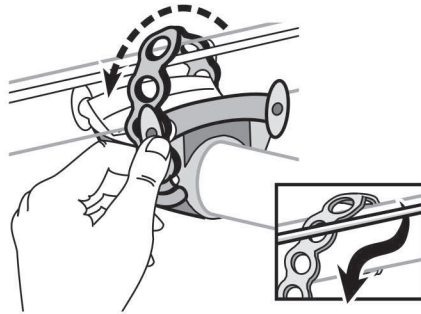
- 自転車が最も安定する位置に配置してください。
- ストラップを自転車のフレームにしっかり巻き付け、クレードルに引っ掛けます。

**21** 自転車1台につき、チェーンストラップを3本使用します。



クレードルをアームに沿ってスライドさせるには、クレードルとスタビライザーを閉じてください。  
自転車を積み込む際はクレードルを閉じてください。

ストラップを自転車のフレームとシートチューブに斜めに渡してしっかりと固定してください。



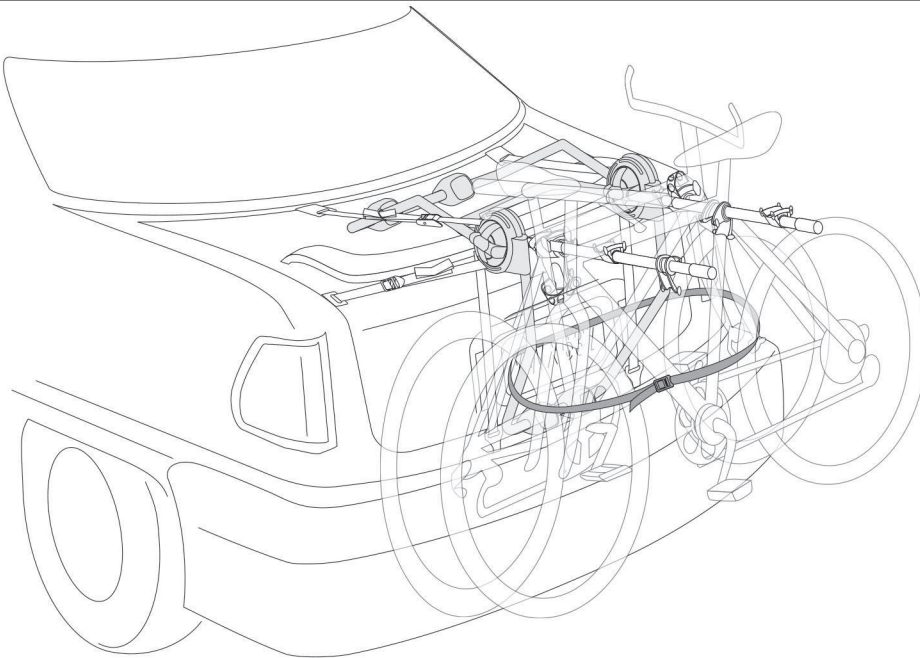
ストラップはケーブルの下に通すことができます。

2台目の自転車を積み込みます。



自転車同士の干渉を避けるため、前後の向きを交互に積み込んでください。

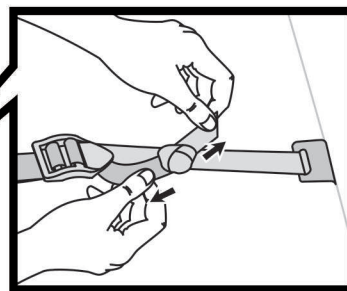
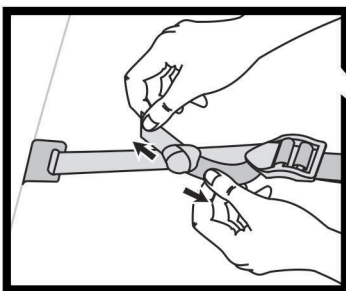
**22**



**自転車の固定**

付属のセーフティストラップを使用して、自転車をキャリアに固定してください。  
ストラップを各ホイールに通し、キャリアの周りに回します。  
ストラップをバックルに通し、締め付けてから、余った端を固定してください。

**23** 自転車を載せた後は、トップとサイドのストラップを再度締め直してください。



自転車の重みによりストラップが緩んだり、フックが外れたりする恐れがあります。

**24**

自転車を積載して走行する前に、次のページのすべての警告をお読みください。



## 以下の警告をお読みください

## 積載制限

- ・ハングアウト2の最大耐荷重は27kg（自転車2台まで）
- ・ハングアウト3の最大耐荷重は41kg（自転車3台まで）
- ・1台あたり13.5kgまでの自転車が積載できます。
- ・2人乗り自転車やリカンベント自転車は積載できません。
- ・自転車に取り付けられている付属品は全て取り外してください。



## 警告

- ・自転車を載せた後は、必ずストラップを締めてください。
- ・自転車は、付属のセーフティストラップを使用して、キャリアフレームにしっかりと固定してください。
- ・使用中は、定期的にストラップの張りを確認してください。
- ・ストラップは時間の経過とともに緩みます。ご使用のたびに確認し、必要に応じて締め直してください。
- ・ストラップの確認及び締め付けを怠ると、重大な事故につながる恐れがあります。

## 運転について

- ・キャリアを取り付けた状態で、トランクやハッチを開けないでください。車両に損傷を与える恐れがあります。
- ・自転車を積載した状態でオフロードを走行しないでください。
- ・自転車のホイールやストラップを車両の高温になったマフラーに近づけないようにしてください。
- ・トレーラー・キャンピングカー・RVには取り付けしないでください。
- ・摩耗やほつれがあるストラップは交換してください。

## 以下の車両にはご注意ください

## リアウインドワイパー

- ・キャリアを取り付けた状態では、ワイパーが使用できない場合があります。ワイパーとキャリアが接触しないようにしてください。

## コンバーチブル車両

- ・キャリアの上部フレームがコンバーチブルトップに接触しないようにしてください。
- ・キャリアを取り付けた状態でルーフを開閉しないでください。

## スポイラー付き車両

- ・キャリアがスポイラーと接触する場合は、本製品を使用しないでください。

## トランク・ハッチの隙間が狭い

- ・車種によっては、トランクやハッチと車両の隙間が狭すぎて、フックを差し込めない場合があります。その場合は、フックをトランクやハッチの外側から適切な位置までスライドさせてください。それでも隙間が狭い場合は、トランクやハッチを開け、フックを差し込み、車両を傷つけないように慎重に閉じてください。
- ・取り付け作業を続ける前に、トランクやハッチが確実に閉まっていることを確認して行ってください。

## 隙間のあるスポイラー

- ・リアスポイラーとリアウインドウまたはハッチとの間に隙間があるSUV・バン・ワゴンの場合は、可能な限りトップストラップをスポイラーの下におおってください。ストラップがスポイラーに接触しないようにしてください。

## ガラスハッチ付き車両

- ・フックをガラス面に取り付ける場合は、別売りのガラスハッチフックを使用してください。

## ソフトアタッチメントポイント

- ・ストラップを過度に締め過ぎると、車体の弱い部分が損傷するおそれがあります。



お使いのキャリアは保証の対象となりますが、適合情報が掲載されていない車両への取り付けについては保証対象外となります。

## メンテナンス

- ・潤滑剤は不要です。
- ・水に浸さないでください。
- ・自動洗車機を利用する前は、キャリアを取り外してください。

# YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>

日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

# AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL：0779-89-2171

Mail：[info@auto-proz.com](mailto:info@auto-proz.com)

HP：<https://www.auto-proz.com/>

この取付説明書は、取り付け後も大切に保管してください